2024年5月23日 神無七郎

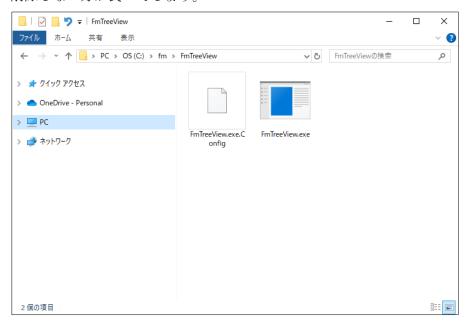
FmTreeView は fmza のトレース出力ファイルを木構造で階層的に表示するツールです。

fmza の「トレース」は指定手数までの変化・紛れをすべて出力する大変便利な機能ですが、情報量が多過ぎるため、必要な情報を探すのが大変でした。FmTreeView はトレースで出力されたデータを木構造で階層的に表示することにより、必要な情報を見つけやすくしてくれるツールです。

1. 基本的な使い方

(1) 準備

本サイトから圧縮ファイル FmTreeView.zip をダウンロードし、FmTreeView.exe を取り出して適当なフォルダに置いてください。デスクトップにショートカットを作ったり、スタートメニューに登録しておくと便利です。また、FmTreeView.exe を一度使うと、同じフォルダに FmTreeView.exe.Config というファイルが作られます。これは前回開いたファイルの種類やフォルダを記録しておくためのものです。特に必要がない限り、削除しない方が良いでしょう。



(2) 起動

起動は通常の Windows アプリケーションと同じです。

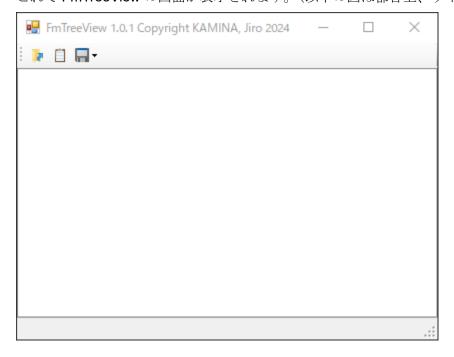
Windowsの版にもよりますが、最初の起動時は警告画面が出ますので、ブロックを解除してください。



「詳細情報」をクリックすると画面が次のように変わるので、「実行」を選びます。



これで FmTreeView の画面が表示されます。(以下の図は都合上、ウインドウの大きさを小さくしています)

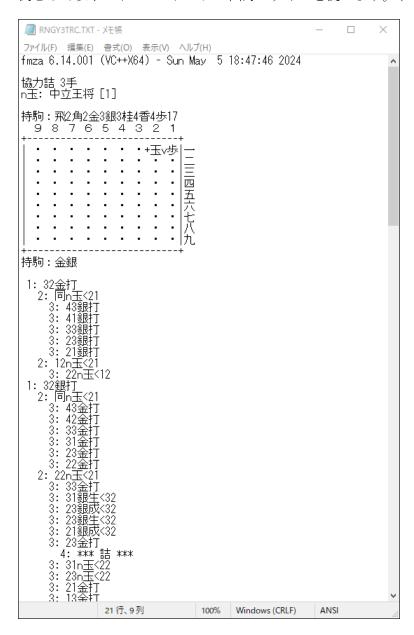


(3) トレースデータを読み込む

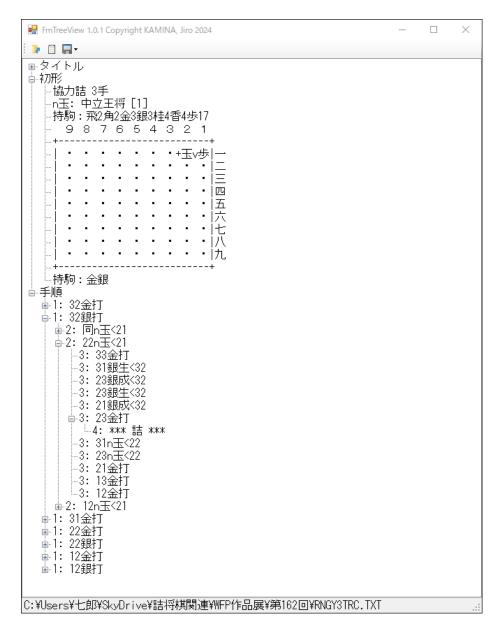
FmTreeView に fmza のトレースデータを与えます。 これには以下の3つの方法があります。どれでも同じなので、自分がやり易い方法を選んでください。

- a. トレースデータを含むファイルを FmTreeView の画面上にドラッグ&ドロップする
- c. トレースデータをコピーして [] のボタンで貼り付ける

例として以下のトレースデータの出力ファイルを使います。(一部分のみ示します)



これを FmTreeView に与えると以下のように表示されます。



初形及び「詰」に至る手順とその途中の分岐は、最初から展開されて表示されています。

それ以外の項目は折り畳まれた状態です。必要に応じ「-」「+」を切り替え、分岐の表示・非表示を切り替えて欲しい情報を探してください。

▲注意

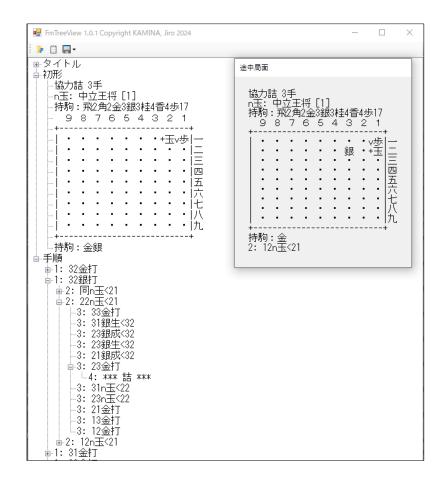
トレース深度を大きくし過ぎると、ファイルが巨大になり過ぎて、FmTreeViewで処理できないことがあります。また処理はできても非常に時間が掛かることがあります。最初は浅めの深度でトレースを取り、徐々に深くする、あるいは調査したい局面になるべく近い途中図からトレースを取る等の工夫でデータ量を削減してください。

(4) 図面の表示/非表示

着手を選ぶと、それお指した局面が右上に表示されます。

以下は「1:32銀打」の下層の「2:12n 玉<21」を選んだ時の表示です。

表示を消す場合はマウスを右クリックしてください。



2. 応用

FmTreeView は fmza のトレースデータを扱うツールですが、fmza のトレースと同様の形式であれば、内容は別のものでも構いません。他のツールやエディタで元データを作っても、形式さえ合っていれば表示することができます。

形式については以下の点に留意してください。

- a. 手順は fmza 形式または KIF 形式に合わせてください。例えば 21 玉が 12 に動いた場合、fmza 形式であれば「 $12 \, \pm \langle 21 \rangle$ 」、KIF 形式であれば「 $12 \, \pm \langle 21 \rangle$ 」のように表します。「不成」は「生」で表します。駒打ちのとき「打」は省略できません。
- b. 各着手にはコメントを付与できます。着手とコメントの間は少なくとも1文字分空けてください。手順に 付与するコメントに「詰」が含まれる場合、最長の枝が自動的に展開されます。

3. 連絡先

FmTreeView について指摘や要望がありましたら、神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com) までメールでご連絡ください。作者の神無次郎氏に直接連絡することはお控えください。